














な事業と決算状況

問 財政課 ☎ 21-1243

●市ホームページにも詳細を掲載しています。トップページから、「市政」⇒「財政」

さいにゅう 市に入ってきた お金の総額		688億926万円 (35.9%↑)	[602,449円] 《一般会計》
市税 皆さんからお預かりした税金  137億9,261万円 (3.0%↓) [120,759円]	国・県支出金 使い方が定められている 国・県からの負担金・ 補助金・委託金 321億2,330万円 (98.5%↑) [281,250円]	地方交付税 普通地方交付税 特別地方交付税 90億8,869万円 (1.2%↑) [79,575円]	市債 建設事業など のための 借金  59億8,090万円 (99.1%↑) [52,365円]
譲与税・交付金 使い方が定められていない 国・県からの各種譲与税・ 交付金など 32億1,300万円 (15.2%↑) [28,131円]	使用料・手数料 分担金・負担金 保育料・ごみ処理手数料など皆 さんに負担していただいた収入 10億3,859万円 (13.6%↓) [9,093円]	繰入金 基金（貯金） の取り崩し など  7億1,392万円 (62.6%↓) [6,251円]	その他 寄附金・財産売払収入・ 繰越金・競輪事業収入 など 28億5,825万円 (22.5%↑) [25,025円]

さいしゅつ 市が使った お金の総額		676億6,998万円 (36.1%↑)	[592,474円] 《一般会計》	
民生費 社会保障、子育て支援、 高齢者・ 障がい者 福祉など  269億6,265万円 (2.6%↑) [236,067円]	議会費・総務費 市議会・ 市役所 の運営など  174億1,295万円 (167.9%↑) [152,456円]	教育費 幼稚園・小・中学校教育、 社会教育、 スポーツ振興 など  65億5,118万円 (80.8%↑) [57,358円]	土木費・災害復旧費 道路、街路、公園 整備、海岸整備、 災害復旧など  60億9,961万円 (65.8%↑) [53,404円]	公債費 市債 (借金) の返済  31億2,974万円 (0.5%↓) [27,402円]
衛生費 健康増進、 ごみ処理、 環境保全 など  30億5,156万円 (7.1%↑) [26,717円]	商工費・観光費 商工・温泉・ 観光振興 など  28億8,515万円 (45.2%↑) [25,261円]	消防費 消防や 防災対策 など  11億8,692万円 (4.5%↓) [10,392円]	労働費・農林水産業費 消費者・ 勤労者対策、 農林水産業 振興など  3億9,022万円 (4.4%↓) [3,417円]	

年度末の 財政状況	●歳入歳出差引額 11億3,928万円 (26.9%↑) 令和3年度へ繰り越しました。
	●基金（貯金）の残高 113億2,082万円 (3.4%↑) [99,118円]
	●市債（借金）の残高 378億6,864万円 (8.6%↑) [331,553円]

()内は対前年度比、【 】内は、令和3年3月31日現在の別府市の住民基本台帳の人口(114,216人)で割った金額です。

主な事業

新型コロナ感染拡大防止事業 1,676 万円

年末（令和2年12月）に市内で連日新型コロナ感染者が発生したことに伴い、営業を自粛した飲食店などに対し、PCR検査の機会を提供しました。



市内飲食店などの経営者、従業員に対し、唾液採取によるPCR検査キットを配布し、予約制で回収を行いました。総検査数2,841件に対し、検査結果は全て陰性でした。

別府みんなにエール券発行事業 2億9,000万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民への経済的支援と市内産業の活性化を図るため、プレミアム率30%の「別府みんなにエール券」を発行しました。



約16万冊を販売し、令和2年12月4日から令和3年5月31日までの利用期間に、約10億4千万円が消費されました。

亀川地区市営住宅集約建替事業 20億4,101万円

老朽化が進んでいた亀川住宅、浜田住宅、内竈住宅の集約建替事業を行いました。



PFI方式を採用し、令和3年11月に「別府市亀川地区市営住宅」が完成しました。

中学校統合事業 27億4,599万円

旧西小学校跡地に建設していた浜脇中学校と山の手中学校の統合校が完成しました。



令和3年4月に「別府西中学校」として開校しました。

公園テニスコート改修事業 9,878万円

老朽化した公園テニスコートを改修しました。



北側コート的人工芝を張り替え、西側コートをクレーから人工芝に変更することにより、安全性の確保と利便性の向上を図りました。

緊急雇用事業 2億2,693万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、企業などから解雇された人、休業を余儀なくされた人、内定を取り消された人などの雇用機会を創出するため、会計年度任用職員として雇用しました。



市役所、小中学校などの公共施設内の消毒作業、清掃・消毒用の消毒液の配布などの業務に321人が従事しました。

南部複合公共施設整備事業 5億9,770万円

旧南小学校跡地に建設していた複合公共施設が完成しました。1階は中央保育所、2階は中央保育所・南部子育て支援センター、3階は南部地域交流センター・南部児童館となっています。



施設の愛称は、公募により「おひさまパーク」に決定しました。

鉄輪地獄地帯公園整備事業 1億6,883万円

公園の機能拡充や利便性の向上を図るため、民間活力を導入して公園施設を整備しました。



整備された「グランシア別府鉄輪」では、日帰りバーベキューやグランピングを楽しむことができます。

特別定額給付金	115億6,580万円
生活保護費	67億9,551万円
自立支援給付費	42億2,160万円
保育園（私立）運営費負担金	32億7,554万円
介護保険事業特別会計繰出金	20億4,121万円
後期高齢者医療療養給付費負担金	17億8,109万円
児童手当	15億236万円
国民健康保険事業特別会計繰出金	8億9,011万円
障害児通所支援給付費	6億8,579万円
児童扶養手当	6億4,095万円

●金額は、表示している単位未満を四捨五入しています。

令和 2 年度 一般会計と各特別会計の決算額

会計名		歳入	歳出	差引額
一般会計		688億926万円	676億6,998万円	11億3,928万円
特別会計		555億3,569万円	545億1,171万円	10億2,398万円
内訳	国民健康保険事業	139億7,611万円	134億9,299万円	4億8,312万円
	競輪事業	264億1,572万円	260億9,364万円	3億2,208万円
	公共用地先行取得事業	0円	0円	0円
	地方卸売市場事業	3,723万円	3,723万円	0円
	介護保険事業	133億7,959万円	131億6,967万円	2億992万円
	後期高齢者医療	17億2,704万円	17億1,818万円	886万円
合計		1,243億4,495万円	1,221億8,169万円	21億6,326万円

●金額は、表示している単位未満を四捨五入しています。

令和 2 年度 充当明細表 (税などの使いみち)

都市計画税充当明細	充当先	金額
	1 土木費等	7億2,498万円
	街路事業	389万円
	都市公園整備事業	1億108万円
	公共下水道事業会計繰出金	2億3,658万円
	その他都市計画事業	3億8,343万円
	2 公債費	3億3,353万円
	長期償還元金	3億1,231万円
	長期償還利子	2,122万円
	合計	10億5,851万円

入湯税充当明細	充当先	金額
	1 観光費	2億2,325万円
	基金積立金	8,152万円
	観光客誘致事業	1億373万円
	温泉施設費	3,800万円
合計	2億2,325万円	



競輪事業収入充当明細	充当先	金額
	1 総務費	1億円
	基金積立金	1億円
	2 民生費	1,500万円
	在宅支援事業	1,500万円
	3 衛生費	1億2,700万円
	予防費	1億2,700万円
	4 教育費	5,800万円
	文化振興費	3,800万円
	体育施設費	2,000万円
合計	3億円	

(社会保障財源分) 地方消費税交付金充当明細	充当先	金額
	1 民生費	9億6,900万円
	自立支援給付事業	2億7,700万円
	介護保険事業特別会計繰出金	2億7,700万円
	後期高齢者医療事業	1億3,800万円
	保育所入所事業	2億7,700万円
	2 衛生費	4億1,585万円
	予防接種事業	1億7,685万円
	子ども医療助成事業	6,900万円
	母子健康診査事業	6,900万円
	健康診査事業	1億100万円
	合計	13億8,485万円

●金額は、表示している単位未満を四捨五入していますので、内訳の合計金額と総計が一致しない場合があります。

令和2年度 財政健全化法に基づく指標

	令和元年度 比率	令和2年度 比率	早期健全化 基準(黄信号)	財政再生 基準(赤信号)	用語の説明	
健全化判断比率	実質赤字比率	赤字額なし	赤字額なし	12.02%	20.00%	標準財政規模(※1)に対する一般会計等の赤字額の割合を表す比率
	連結実質赤字比率	赤字額なし	赤字額なし	17.02%	30.00%	標準財政規模(※1)に対する全会計の赤字額の割合を表す比率
	実質公債費比率	3.2%	2.8%	25.00%	35.00%	標準財政規模(※1)に対する地方債償還など財政負担額の割合を表す比率
	将来負担比率	比率なし(※2)	比率なし(※2)	350.00%		標準財政規模(※1)に対する一般会計等が将来的に負担すべき負債の割合を表す比率

- ※1 標準財政規模については、ページ右下の説明をご覧ください。
- ※2 将来負担すべき負債が充当できる財源を下回り、数値が負となるため比率なし。

	令和元年度 比率	令和2年度 比率	早期健全化基準(黄信号)	用語の説明
資金不足比率 (全公営企業会計※3)	資金不足額なし	資金不足額なし	20.00%	公営企業の資金不足額が事業規模に対し、どの程度あるかを示す比率

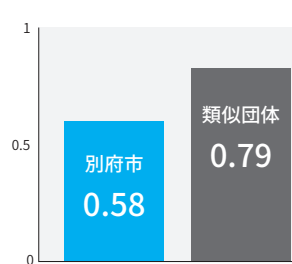
- ※3 公営企業会計は、水道事業会計、公共下水道事業会計、地方卸売市場事業特別会計です。

財政状況を類似団体と比較

- 類似団体とは、人口規模や産業構造が同じような状況にある自治体のことで、令和元年度の別府市の類似団体は50団体あります。
- 類似団体の財政状況を比較した資料は毎年3月に総務省が公表します。令和2年度の数値が公表前ですので今回は令和元年度の決算数値で比較しています。
- 比較は地方財政統計上統一的に使われる「普通会計」という会計区分で行っています。そのため市報令和3年2月号で報告した数値(一般会計ベース)と異なります。

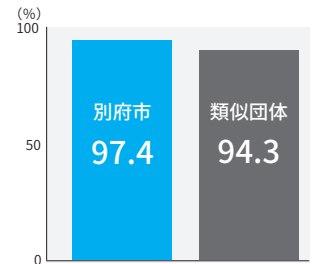
ざいせいりよくしすう 財政力指数

財政基盤の強さを見るための指標で、数字が大きいくほど財政力が強いと言えます。この数字が「1」を超える地方公共団体には普通地方交付税は交付されません。



けいじょうしゅうしひりつ 経常収支比率

使い方を制限されていない市税や普通地方交付税など経常的な収入に対する人件費・扶助費・公債費(借金の返済)など経常的な支出の割合です。この数値が低いほど財政にゆとりがあります。



人口一人当たりで比較すると…

区分	①別府市	②類似団体	①-②
歳入	433,251 円	406,846 円	+ 26,405 円
歳出	425,566 円	394,719 円	+ 30,847 円
積立金現在高(※I)	93,717 円	89,844 円	+ 3,873 円
地方債現在高(※II)	298,392 円	320,402 円	- 22,010 円

- ※I 特定の目的のためなどに積み立てたお金の現在高
- ※II 地方債(借金)の現在高

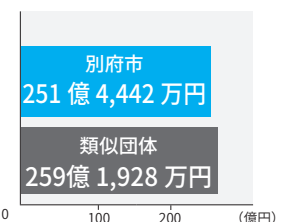
じっしつこうさいひりつ 実質公債費比率

支出全体の中で借金の返済に使った金額を右記の「標準財政規模」で割ったものです。この数値が高いほど財政が硬直化していることになります。(3年平均)



ひょうじゆんざいせい きぼ 標準財政規模

地方公共団体が自由に使える標準的な一般財源の大きさを示すものです。



●財政状況を家計に例えてみると…

他市と比べて貯金が多く(人口1人当たり+3,873円)、借金が少ない(人口一人当たり-22,010円)状況です。